



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子  
児童数 男子498名 女子459名 計957名

TEL (048) 222-4383

FAX (048) 222-9388

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子

## チャンスは 自分でつくる ～ 「大変だな」が大事 ～

校長 石井 宏明

この夏休みには、サマースクールや水泳教室はじめ、しきなみ短歌教室、金管クラブ練習等、数多くの児童が参加し、一生懸命に取り組んでいました。また、市内水泳記録大会や理科オリンピック、珠算競技大会、川口市文化交流事業、English summer camp などにもチャレンジしたり、各町会の夏祭りへの参加など、ご家庭の皆様の後押しもいただき、子供たち一人一人が、いろいろなチャンスを取捨選択し、第1学期の終業式で話した「時間の使い方」を工夫し、チャレンジする姿を目にしたり、様子をお聞きしたりすることができ、とてもうれしく且つ頼もしく感じました。

さて、子供たちは、チャンスをつかむことを「数少ないチャンスをつかむこと」「偶然訪れるもの」と考えてしまうのではないのでしょうか。

たしかにビッグチャンスは、少ないでしょう。

ですが、少ないからこそ、大きく伸びたり、自分が変われたりするのではないのでしょうか。

私たち大人であれば、誰もが感じていることだと存じますが、人はチャンスに出会っても、一見してすぐにチャンスだとわかるようには現れません。

今思い返せば、自分自身が「大変だ」と思ったことが、実は「チャンスのはじまり」ではありませんでしたか。

大変だなと思うことは、ほとんどの人が避けたがります。

ですが、避けてしまえば、チャンスをつかむことはできないのです。

大変だなと思うことを一生懸命行えば、結果としてチャンスをつかんでいることになります。つまり、「大変なこと」が「チャンス」の一つなのです。

子供たちが「大変だな」と思うことは、すべて学びであり、チャンスです。

大変だからといってほうっておいたり、そのことに背を向けたりし続けると、チャンスをつかめなままの人で終わってしまいます。

大変だから、もうひと踏ん張り頑張ろうとする子は、チャンスあふれる生活に変えることができる子と考えております。「大変だな」は、文字通り「大きく変わるチャンス」

「ピンチはチャンス」という言葉もありますが、ピンチがチャンスに「なる」のではなく、チャンスに「する」、「変える」のです。

チャンスは、流れ星。チャンスは、求めていると、出会えません。

やろうかどうか、迷っているうちに消えてしまいます。

チャンスが現れる前から努力をしている人が、チャンスにする(変える)ことができます。

チャンスは、来るまで待っているのではなく、自分で作り出す気持ちや習慣が大切です。

何が大きく変わるチャンスかわからないからこそ、目の前の一つ一つのこと、大変だと感じることにトライしてほしいと考えております。

この第2学期は、チャンスを生らつくるしわすだっ子であってほしいと願っております。